

# 黒毛和種ほ育期間の飼養管理改善 ～素牛市場評価向上に向けたほ育期の飼養管理を改善（取組農業者戸数0戸→1戸）～

（課題番号 10）

- ◆活動年次：令和4年度
- ◆対象：えりも町 えりも和牛改良組合（19戸）

## 1 課題の背景

市場出荷目標となる体格を目指すには、日々の良好な発育が必要である。胎児期からほ乳期間まで（3ヶ月）の飼養管理改善を実践することが市場評価の高い牛づくりにつながる。

### 市場出荷目標となる体格

- ♠去勢牛（8～9カ月齢）  
胸囲：160cm以上＝体重 300kg  
腹囲：190cm以上  
体高：115cm以上
- ♥雌牛（9～10カ月齢）  
胸囲：158cm以上＝体重 280kg  
腹囲：190cm以上  
体高：110cm以上

### ○目標とした飼養管理

- ・初乳の確実な給与
- ・個体管理～群管理への環境改善
- ★ほ乳量、固形飼料の摂取量向上  
（離乳時に摂取量を落とさせない給与の実施）

## 2 活動の経過

### ○活動内容

- ・ほ乳期における固形飼料の給与と摂取のポイントを説明
- ・離乳ストレスを与えないための固形飼料の早期給与について情報提供
- ・体格調査を行い発育程確認（写真1）



写真1 胸囲を測って体重を推定

## 3 活動の成果

### ○ほ乳期に固形飼料給与を早めた

- ・出生3週間後→出生1週間後給与に改善
- ・離乳期には固形飼料を目標の2kg/日以上食べるようになった（写真2）
- ・離乳後の下痢が減った



写真2 離乳後も順調に発育している

## 4 今後の対応

育成期の管理改善と固形飼料摂取早期化の取組を継続し、市場成績についてまとめる（個別対応を継続）